

学科 学年	S 3	科目 分類	体育 Physical Education	実技 必修	H18 通年 1履修 単位	学習教育 目標 E	担当	村山 勝 MURAYAMA Masaru
概要	スポーツにおいて皆で協力して初めて得られる成功体験は、運動衝動の一つにあげられている。このような運動の楽しさは、あるレベル以上の体力や技術によって初めて達成されるものである。従って本授業では、前学年において養われた体力や技術をベースにこの成功体験と関わり深いチーム戦術について学習していくことにする。種目はソフトボールとし、その種目におけるチーム戦術を理解しつつ、運動の楽しさについて学ぶ。							
科目目標 (到達目標)	本授業では、ソフトボールを構成している基本技能（投げる、打つ）の理解と習得、応用技能（戦況に応じたフォーメーションプレー）を使ったチーム戦術についての理解と習得を目指す。また、ルールについても理解を深め、審判法についても学んでいく。							
教科書・器材等								
評価の基準と 方法	出席状況と参加態度を30%、基礎技能習得度30%、応用技能習得度30%、ルールの理解度10%とし、60%以上を合格とする。							
関連科目								
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回	×	授業概要の説明と諸注意、授業の達成目標とその説明、基礎技能の確認とグルーピング						
第2回		基礎技能（キャッチボールとバッティング）の習得とその応用						
第3回		基礎技能（キャッチボールとバッティング）の習得とその応用						
第4回		基礎技能（キャッチボールとバッティング）の習得とその応用						
第5回		基礎技能（ファーストピッチング、スローピッチングとトスバッティング）の習得とその応用、ルールの理解						
第6回		基礎技能（ファーストピッチング、スローピッチングとトスバッティング）の習得とその応用、ルールの理解						
第7回		基礎技能（ファーストピッチング、スローピッチングとトスバッティング）の習得とその応用、ルールの理解						
第8回		基礎技能の習得度確認・復習						
第9回		応用技能（ディフェンスにおけるカバーリング：各内野手）の習得と応用（ゲーム）、ルールの理解						
第10回		応用技能（ディフェンスにおけるカバーリング：各外野手）の習得と応用（ゲーム）、ルールの理解						
第11回		応用技能（内野手における連携プレー①：）の習得と応用（ゲーム）、ルールの理解						
第12回		応用技能（内野手における連携プレー②）の習得と応用（ゲーム）、ルールの理解						
第13回		応用技能（内外野手における連携プレー①）の習得と応用（ゲーム）、ルールの理解						
第14回		応用技能（内外野手における連携プレー②）の習得と応用（ゲーム）、ルールの理解						
第15回		応用技能の習得度確認・まとめ						
オフィスアワー	月曜日の授業開始前又は、終了後の空き時間を利用し質問に対応する。							
授業アンケートへの対応	授業内容の改善をすることにより対応する。							
備考	1回目の授業より運動をするのでスポーツの出来る服装と体育館シューズを用意すること。 雨天時においては、室内にてバスケットボールを中心としたボールゲームを行い、その種目を構成している基本技能の理解と習得、応用技能を使ったチーム戦術についての理解と習得を目指す。また、ルールについても理解を深め、審判法についても学んでいく。							
更新履歴	060110 新規							